

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月28日更新

事務事業名		祭り実施事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進				所属課	政策課	担当者名	塚本健洋
	基本事業	42 地域づくり(まちづくり)活動機会の確保				所属班	政策班	(内線)	1236
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11556	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ⑤	
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民の親睦と融和、市外からの集客、市外への発信、産業振興の活性化を目的に「合志市祭り」を実施していく。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	平成23年度に合併5周年記念事業として合志市夏祭りを開催し、平成25年度からは開催時期を移し秋に行うこととしている。イベントは、市民参画・参加・体験による「合志市の祭り」として定着するように実施していくもの。平成25年度は、市民参画の実行委員会を立ち上げ企画をしていくもの。業者選定にプロポーザル方式を採用していく。
【業務の流れ】	1. 実行委員会設置 2. 補助金申請 3. 補助金支出 4. 会議の開催 5. 業者の選定 6. 祭りの実施 7. 補助金精算 8. 実績報告
【主な予算費目】	19. 補助金(合志市祭り実行委員会への補助金)
【意見や要望】	合志市事業仕分けにおいて、主催者・時期・予算・実証方法・内容について再検討を行うよう意見があっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
祭り実行委員会の企画・立案から運営までの事務、祭り実行委員会への補助金支出		祭り実行委員会の企画・立案から運営までの事務、祭り実行委員会への補助金支出	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 祭り実行委員会開催回数	回	祭り実行委員会への補助金の減	
→ イ 祭り実行委員会補助金	円		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民及び市外からの観光客	人	→ ア 祭りへの参加者数	
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
合志市の祭りとして市民が誇れる、楽しめる	件	→ ア 祭りへの不満などの意見数	
		→ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民に喜ばれる祭りとして良い評価が得られるかを指標とした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア 回		5	5	5	6	5	5	5	5
	イ 円		4,929,356	6,973,815	10,000,000	7,914,455	9,197,000	15,000,000	9,000,000	9,000,000
② 対象指標	ア 人		12,000	25,000	22,000	15,000	22,000	25,000	22,000	22,000
	イ									
③ 成果指標	ア 件		4	5	7	3	7	7	7	7
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円				1,932			
		地方債	千円							
		その他	千円	1,304						
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	3,625	6,974	10,000	7,904	9,197	15,000	9,000
		(A) 事業費計	千円	4,929	6,974	10,000	9,836	9,197	15,000	9,000
		(A) のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	(A) のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	5	27	5	5	5
		延べ業務時間	時間	2,300	2,874	2,300	2,420	2,300	2,300	2,300
	(B) 人件費計		千円	9,287	11,700	9,363	9,641	9,363	9,363	9,363
	トータルコスト(A)+(B)		千円	14,216	18,674	19,363	19,477	18,560	18,363	18,363

事務事業名	祭り実施事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 開催時期を夏から秋へ変更し、また、例年レーザー花火を行っていたが趣を変え、市内外の自治体の協力を得ながら「よかもん・うまかもん博」を開催した。また、合志1300年節目の年にギネスチャレンジ・歴史展示などを新たに実施した。来場者については、15,000人（目標値の3割減）となった。
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 運営については、前年度から同様「合志市祭り実行委員会」が行う。業者選定については、業者の企画提案内容を比較・決定するプロポーザル方式を採用するため、実行委員会が「合志市の祭り」として相応しい企画を選定することで、目標を達成する見込みはある。また、回覧数を秋に固定化することにより、市民への認知度も高まると思われる。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 今まで以上に様々な情報提供手段を活用し、市内外からの参加をアピール行うことは勿論のこと、地元団体や関係自治体・企業・大学・NPOなどの協力を得ながら「合志（こうし）市」を発信し、「人と人」、「モノとモノ」を交流させることで、この事業を向上させることができる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 合志市全体の祭りであるため、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 現状のように行政が実施するのであれば、事業遂行のための最小限予算であるため、削減の余地はないが、実施主体を民間団体などへ移行させることで経費削減を図ることができる可能性がある。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 上記同様、実施主体を民間団体などに移行させることで、人件費の大幅な削減をすることができるが、市が実施主体であれば、数年間の実績から最小限の事務で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした取り組みであるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 「合志市の祭り」については、市内外の交流事業として必要性はある。しかし、今後は費用対効果も十分考慮しながら、行政で運営すべきが見直す必要がある。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

開催時期を夏から秋に変更したことで天候に左右されることがなく事業を進めることが出来た。また、内容についても、例年実施してきたレーザー花火から「ご当地キャラ運動会」「よかもん・うまかもん博」「ギネスチャレンジ」など趣を変え、多くのファミリー層に喜んでいただけたことができた。しかし、広報紙・HP・フェイスブック・ポスター・チラシ・新聞・雑誌・テレビ・ラジオと多くの広報手段を活用し、イベント周知を行ったが、テレビによる周知が少なかったため、来場者数が目標値を下回ったように思える。また、時期を夏から秋に移行したことで、市民への認知度も低く、次年度以降は、老若男女が楽しめるイベントを企画する必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☒ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 祭りが長く地域に愛され、定着するためには行政が行う手法（実施方法が流動的・担当者の変更など）では難しいのが現状である。地域・企業・団体・行政などが一体となることが、地域に愛される地元の「祭り」の姿ではないかと考えられる。	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 地元の祭りを実施するために相応しい団体の育成・組織化が課題となる。																						